公園管理運営実践講習「Ⅱ」グループディスカッション　提案書

2024 年 11 月 9 日	
班番号	1 班
進行役	
書記係	
発表者	

公園モ　　総合公園

タイトル［誰でも安心して利用できる公園を目指して］

目標：夜間の利用者数を**10倍**にします。

課題：①暗い公園は危険
②不審な人がいる
③トイレが怖い
④盗難が多い

→ 女性と子どもが安心して利用できない!!

危険 → 人が来ない → すたれる → 危険

管理方針（公約）：**新しい循環の実現**

- 明るさへの対策と利用活性化：スポーツ施設の夜間利用の実施（日没後点灯）
  ライトアップイベントの開催.（毎日17～21時）
- 治安維持：役割にとらわれない巡回の実施.（様々な視点）
  スタッフだけでなく.利用者も.

ホウ・レン・リウ

- 警察との連携（毎日の巡回実施）
- 行政との定例会（週1回実施）
- 利用者からの情報収約（目安箱の設置）

安い → 人が増える → にぎわう → 安い

公園管理運営実践講習「Ⅱ」グループディスカッション　提案書

2024年11月9日	
班番号	2班
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[誰でも気軽に〜 仁義なき安全・安心との戦い]

少子高齢化，インバウンド，障害者

ハード

- ユニバーサルデザイン
  (遊具，段差，MAP)
  - 園内バスなど移動手段導入
- 公園の見通し
  → 植栽管理，明るさ
- 日常点検
  → 結果開示

必要な修繕 ⇩ 地方公共団体へ

ソフト

誰でも参加できるイベント開催

- 日常利用の促進
  見守り↑夜間巡回
- ヒアリング調査
- 情報発[redacted]信
  と見える化

地域とのネットワーク構築
核となる　交流

公園管理運営実践講習「Ⅱ」グループディスカッション　提案書

2024年 11月 9日	
班番号	3
進行役	
書記係	
発表者	

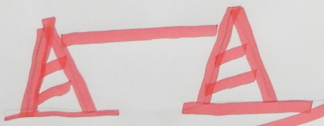
タイトル

[令和の公園での安全・安心への取組み]

インバウンドの影響を受ける都市公園

防犯

- 利活用促進
  - 公園での活動場所
- 夜間巡回を行う
- 見通しの良い植林管理



利用方法

- 利用方法の周知
- 言語の多言語化
- ピクトグラムの活用
- 重機等のふれあいイベントの開催



公園愛護会など協力団体の活性化

管理方法

- 日常点検のダブルチェック
- 利用者アンケートex QRコードやSNS
- 避難訓練の階層化
- 救命救護講習
- 遊具点検講習

公園管理運営実践講習「Ⅱ」グループディスカッション　提案書

2024年 11月 9日
班番号 4
進行役
書記係
発表者

タイトル
[DX化による安全管理の実現に向けて]

考えられる問題点

・事故発生時の初動対応.

・発災時の公園が果たせる役割を
周辺住民に十分に認知されていない.

・安全管理に必要な人材・知識不足.

・外国人旅行者をはじめとした、公園利用者の
多様化.

提案する解決策

・上級救命士の有資格者の配置.

・LIVE119のアプリ導入.

・パークミーティングの実施. 住民や自治体との
地域連携を深める.

・DX化による業務効率化. それにより
空いた時間で公園スタッフの研修強化.

公園管理運営実践講習「Ⅱ」グループディスカッション　提案書

2024年 11月 9日	
班番号	5
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[コストを抑えて多様な利用を受け入れる]

社会情勢

◎インバウンド

◎高齢化

課題・ニーズ

多様化する利用者に対応する。

言語の壁

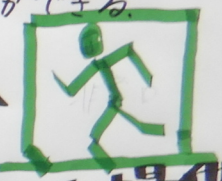
身体が不自由な方の利用

認知症

対策

○窓口にコミュニケーションボードを設置
- 指さしでスムーズにやりとりを可能にすることができる。

○施設内にピクトグラム
- イラストで直感的にわかる。



○デジタルサイネージで情報を提供
- 多言語表記で災害時も即対応。

効果

○利用者が安心して利用できる!

○導入が簡単でどんな公園でも取り入れられる!

○スタッフの負担軽減!

公園管理運営実践講習「 Ⅱ 」グループディスカッション 提案書

2024年 11月 9日
班番号 6
進行役
書記係
発表者

タイトル

[都市公園の3大リスクに対する担うべき機能]

防災

巨大地震、火災、水害

BCP対策（アプリ導入）→ 設備の備蓄（カマド、トイレ）食品、飲料水

※情報の発信!!

防犯

死角・暗闇化
犯罪発生場所

→ 細かな巡回
・「見守り組」の設置（ボランティアと連携）

公衆衛生

→ 設備対策
アプリでアラート発信

衛生的な病気のまん延、犬猫の「フンきり」
・トイレ不足
・外国の方への（ていこう）
インバウンド

公園管理運営実践講習「Ⅱ」グループディスカッション　提案書

2024年11月9日
班番号　7班
進行役
書記係
発表者

タイトル

[地域と公園が手をつなぐユニバーサルパーク ～障がいのある子どもと一緒に～]

代々木公園

- 駅に近くアクセス◎
- ハード面（トイレ、点字など）整備済

○保護者も安心

子育ては保護者だけのものではありません。公園も地域の人もお手伝いします。

- 手話・点字が可能なスタッフを配備
- いざという時の防災訓練を年2回実施
- 最寄り駅までの送迎

○できることいっぱい

普段はあきらめがちなアクティビティもこの公園なら叶います。

- 原宿グループのお店の擬似体験、代々木版「キッザニア」
- お家に居ても遊べるVRで遠足で
- 農園で作った食材料理体験

○めいっぱい身体を動かす

公園の既存施設で新しい使い方を提案します

- ユニバーサルスポーツ体験会
- 車いすマラソン大会
- 森の空気を味わう散策

公園管理運営実践講習「2」グループディスカッション　提案書

2024年11月　日	
班番号	8
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[〆キケンにそなえろ！セーフティーパーク]

課題

・異常気象によるキケン
　↳・ゲリラ豪雨
　　・猛暑
　　・大雪

・老木によるキケン
　↳・倒木
　　・落枝、枝折れ

・大地震

対応策

・一時避難所としての機能の充実
　↳・近隣住民を巻きこんだ防災訓練（年2回）
　　・防災まつりの開催（年2回）
　　・自衛隊、消防、警察、地自治体と協働
　　・カマドベンチ、マンホールトイレ、パーゴラ

・適正な樹木管理
　↳・各公園に樹木医配置
　　・リモート樹木診断
　　・巨木の萌芽更新

・パークセンターの耐振化

・防災マップのレジャーシートの配布

公園管理運営実践講習「Ⅱ」グループディスカッション　提案書

2024年11月9日	
班番号	9
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[みんなの居場所になる公園作り]

基本方針：少子化・高齢化社会の中コミュニティーを作る

[課題]

- 地域の結びつきが希薄
- 子供の外遊びが少ない
- 近隣住民からの音の苦情
- 遊具の老朽化

[提案・取り組み]

- プレーパーク
- インクルーシブ遊具
- 世代間交流イベント
- デジタルとアナログを活用

にぎわいの「場」の創出

公園管理運営実践講習「Ⅱ」グループディスカッション　提案書

2024年11月9日
班番号　10
進行役
書記係
発表者

タイトル

[生涯現役！]

～死ぬ時は仁王立ち～



問題

公園が寂しい
⇒利用しにくく、来園者が少ない。

改善策

ハード

・園路の整地
・休憩スポットの修繕・増設
・車椅子・ベビーカーの貸出し
・授乳スペースの確保

少子高齢化対策

ソフト

・ボランティア(年配)結成 ⇒公園スタッフへの再雇用
・生涯学習プログラム(歴史 生花 etc.)・近隣の学校との連携(天体観測 etc.)

公園管理運営実践講習〔②〕グループディスカッション 提案書

2024年11月9日	
班番号	11
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[地域が安心して過ごせる「共育」の公園へ]

本公園の特色

- 総合公園
- 人気の複合遊具がある
- 新興住宅地（ファミリー層）
- 他地域からも訪問者多数

私達のビジョン

- 子供が安心して遊べる
- 地域の未来と価値を遊創る

◆設備・遊具・植栽◆

GISを利用したわかりやすく効率的な情報共有

◆防犯◆

地域協働による防犯対策

◆職員の意識醸成◆

公園管理運営士などの専門家の育成（資格取得支援）



公園管理運営実践講習「Ⅱ」グループディスカッション　提案書

2024年 11月 9日	
班番号	12
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[震災時に防災公園が果たす役割]

[1] 震災時に、誰もが「自分事」として動ける環境づくりへ

ハード面での提案

- かまど、ベンチ、災害用トイレ、防災パーゴラ等 防災設備の定期点検
- 災害用ベンダー等の普及
- 公園主導の防災マップ、ハザードマップの周知、啓発
- 定期的な防災マニュアルの改訂と内容を浸透させる訓練の定例化
- 備品用リストの作成、非常食のローリングストックetc
- 災害時を想定したシフト体系のシミュレーション





地域社会・コミュニティ

自治体
町内会、近隣の小中学校
消防署、警察署、障がい者施設、
(消防団含) 老人ホーム、
ボランティア団体、NPO …etc

相互参加

相互参加

防災公園

訓練とイベントで
防災に対する意識と
自主性を醸成する
習慣化・日常化した防災への取組

ソフト面での提案

- 職員の、防災士、防災介助士の資格者、リーダーシップをとれる人材育成
- 近隣施設との定期的な地域連携防災訓練の実施と効果測定の実施
- 「災害時避難行動要支援者」の知識の浸透をはかる
- 日常的な情報交換
  (公園 ⟷ 近隣コミュニティ)



自助・"共助"・公助
を強化する公園づくりを目指します。



公園管理運営実践講習「エ」グループディスカッション 提案書

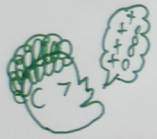
2024年11月9日	
班番号	13
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[ほっぷぱーく ～全ての利用者の安心安全の確保～]

利用者の多様化

課題 インバウンドに対応したい（多文化）



多言語化の推進！
- 園内看板の英語表記
- HPやSNSでの英語表記
- やさしい日本語！（ひらがな表記）
- ピクトグラムの活用
- 多言語スタッフの配置

経年による不具合

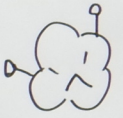
課題 老木化による被害
施設の老朽化
プールなど施設の老朽化



基本の徹底！
- 日常点検！
- 発注者との協議！
- スタッフのスキルアップ！
- 樹木診断の徹底！
- 樹木更新！
- 市民参加にして環境教育！

衛生管理のむずかしさ

課題 感染症の広がり ～コロナ、インフルエンザetc～



清掃の強化・点検
トイレ清掃をこまめに
石けん・消毒液の補充
日常点検
保険などに加入
たくさんのスタッフの目でチェック
小まめな手洗いの啓発

公園管理運営実践講習「Ⅱ」グループディスカッション　提案書

タイトル

[ニーズの多様化を実現するための人材確保 ～安心安全のために～]

2024年11月9日	
班番号	14
進行役	
書記係	
発表者	座

社会的ニーズの多様化

ex. スケボー、ボール遊び、アスレチック
休息、犬の散歩、バーベキュー
地域イベント（防災キャンプ、祭り）

安心安全に利用するためには人手が必要

- 遊具点検
- 飲びの見守り
- 警備
- ボランティアの育成
- ドッグランやスケボー
  などの専用区域の管理

① 遊具点検のDX化

② 地域の人材を活用
（シルバー人材、地域住民など）

③ 利用時間の限定



公園管理運営実践講習「Ⅱ」グループディスカッション　提案書

2024 年 11 月 9 日	
班番号	15
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[誰でも安心・安全に利用できる公園]

課題

- 災害
  - 地震　津波
- インクルーシブ
  - 外国人による利用
  - 障がい者　子育て世代
- 防犯
  - 犯罪の強悪化
  - 地域コミュニティのうすれ

私たちの提案

- 災害 → DXを導入した新たな情報収集 → 過去の被害状況をパッと見れる記録アプリ
- インクルーシブ → 公平・平等に利用してもらう新たな役割 → ほん訳アプリ / ユニバーサルデザインマップの導入 / ユニバーサルデザインチェック
- 防犯 → 継続的なコミュニティーの創立 → ライフタイムバリューに沿ったイベントの企画

公園管理運営実践講習「Ⅱ」グループディスカッション　提案書

2024年11月9日	
班番号	16班王
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[温故知新型の維持管理!!]

私たちの公園は、都市公園です。

〈新技術による発展的な維持管理〉

- 施設点検のDX化
- ARグラスによる遠隔点検、植物案内
- レジストグラフ等による樹木の機械診断
- 利用者による情報共有アプリ等の導入
- ドローンを用いた樹木施設管理
- オートモアによる無人草刈り

〈経験に基づく着実な維持管理〉

- 事故等の緊急~~対応~~時における対応の平準化
  （マニュアル、ハザードマップ、人材育成）
- 予防保全型の維持管理
- 防災~~専~~士、公園管理運営士の配置
- 地域と連携した防災訓練
- 防災協定の締結